

## 厚岸町の魅力・強みを教育に生かして

---

桜の開花前線の北上とともに春の便りが届く季節となり、ここ厚岸にも多くの教職員が小中学校に着任しました。先日、新しく本町の小中学校に着任された教職員に、「厚岸町の魅力・強み」を厚岸町総合計画から引用し下のようにお伝えしました。

- ラムサール条約登録湿地に認定され、その価値が認められている「厚岸湖・別寒辺牛湿原」や、厚岸霧多布昆布森国定公園など、世界に誇る豊かで優れた自然環境を有していること。
- 独特な地形ゆえ発展してきた漁業や酪農業。牡蠣やアサリをはじめ、年間50種類を超える魚介類の水揚げ、広大な酪農地帯で生産される牛乳や農産物など、豊富な食資源を有していること。
- 豊かな自然や産業など多彩な資源を魅力とした観光業。「厚岸ウイスキー」の好調な販売や、厚岸味覚ターミナルコンキリエは、観光雑誌の駅ランキング・食事メニュー部門で12年連続1位に輝いていること。
- 厚岸町は、百年以上にわたって地域医療を支え続けている町立厚岸病院をはじめ、あみか21など、保健・医療・福祉に関する様々な機能が備わっていること。
- 江戸幕府によって建立された国泰寺など、道東文化発祥の地である厚岸町は、貴重な文化財を多数有する町であること。
- 厚岸町の強みとして挙げられている項目で、私が最も注視しているのが「町民の愛着度の高さ」であること。特に、厚岸町の子供たちは、「厚岸町が好き」と回答する子が多いことが、過去の愛着度調査などから報告されていて、町行政の柱の1つでもある「まちづくりはひとづくり」の大事な原動力になっていること。

厚岸町にお越しいただいた教職員の皆さんには、早い段階で厚岸町の魅力を感じていただくとともに、「人」「もの」「こと」が豊富にある町ですので、地域素材・地域資源を学校の授業や活動に結びつけていただくことをご期待申し上げます。

厚岸町が有するこの豊かな教育環境を生かして、ふるさとを愛する子供を育ててほしいという思いから、厚岸町の魅力のほんの一部をお伝えさせていただきました。

その土地に住み続けている人は「土の人」、転勤族の教職員は「風の人」といわれ、土の人と風の人が手を携えて、そのまちの新しい「風土」をつくるという話を聞いたことがあります。

ます。本年度着任された教職員の皆さんが、新しい風となって土の人と一緒に新しい風土を創ってほしいと願うばかりです。

令和5年4月

厚岸町教育委員会  
教育長 滝川 敦善